

施策評価シート

年度

3

1. 基本情報

まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち		
施策	健康に暮らせるまちづくり		
基本施策	健康づくりと予防対策の推進		
取り組み事項	健康づくり意識を醸成する		
主管部局	健康福祉部 子育て元気課	関連部局	

めざす暮らしの姿

健康づくりと予防対策の推進

基本方針

市民一人ひとりが自ら主体となって健康づくり・健康管理を行い、生涯にわたり健康な体と豊かな心で暮らせるまちを目指します。
健康づくりの場と機械を提供し、市民の健康維持・健康増進の意識を高め、健康の自己点検のための生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査及び相談体制の充実を図ります。また、食を知り市民が主体となる食育の輪を広げます。

施策の方針

健康づくり意識を醸成する。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.95	1.15	0.35	0.35
会計年度任用職員数			0.26	0.26	0.02	0.02
人件費計			6,813,359	9,178,169	2,706,749	2,706,749
事業費計			35,517,330	38,414,000	3,062,000	3,062,000
フルコスト			42,330,689	47,592,169	5,768,749	5,768,749

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		130,000	174,000	0	0
	県支出金		797,000	1,136,000	0	0
	市債				0	0
	その他			10,009,624	10,975,000	600,000
一般財源1			31,394,065	35,307,169	5,168,749	5,168,749
一般財源2			24,580,706	26,129,000	2,462,000	2,462,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【質】ポイント達成者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値			250	250		
単年度実績値			231			
単年度達成率	-	-	92.4%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【質】ポイント達成者数
前年度との比較	
所見	ポイント達成者(応募者)が伸び悩んでおり、特に若年層の参加が少なく改善が必要であり引き続き周知方法を含め実施について検討していきたい。市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツを工夫したり、その他事業等も活用していく。

施策評価シート

年度

3

1. 基本情報

まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち		
施策	健康に暮らせるまちづくり		
基本施策	健康づくりと予防対策の推進		
取り組み事項	感染症などの予防を推進する		
主管部局	健康福祉部 子育て元気課	関連部局	

めざす暮らしの姿

健康づくりと予防対策の推進

基本方針

市民一人ひとりが自ら主体となって健康づくり・健康管理を行い、生涯にわたり健康な体と豊かな心で暮らせるまちを目指します。感染症対策の情報を正確かつ迅速に提供できる体制を強化します。

施策の方針

感染症などの予防を推進する

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			4.13	3.53	0.0	0.0
会計年度任用職員数			0.1	0.1	0.0	0.0
人件費計			28,169,296	27,150,532	0	0
事業費計			301,050,717	167,522,000	0	0
フルコスト			329,220,013	194,672,532	0	0

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		152,965,923	53,156,000	0	0
	県支出金		0	25,000	0	0
	市債				0	0
	その他				0	0
一般財源1			176,254,090	141,491,532	0	0
一般財源2			148,084,794	114,341,000	0	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【量】定期予防接種A類接種率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値	100	100	100	100		
単年度実績値	72.5	72	79.7			
単年度達成率	72.5%	72%	79.7%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】定期予防接種A類接種率
前年度との比較	↑: 向上
所見	市民に対して正しい知識の普及を行い、対象に対しては接種時期を捉えた接種勧奨を適宜行い接種率の向上に努めた。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	030402010003	事務事業名	健康づくり推進事業
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	健康に暮らせるまちづくり
基本施策	健康づくりと予防対策の推進	取り組み事項	健康づくり意識を醸成する
部名	健康福祉部	課名	子育て元気課
事業の開始	平成20年度	終了年度	なし
実施の概要	健康づくりの場と機会を提供し、市民の健康維持・健康増進の意識を高め、健康の自己点検のための生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査及び相談体制の充実を図る		
対象			
目的	市民一人ひとりが自ら主体となって健康づくり・健康管理を行い、生涯にわたり健康な体と豊かな心で暮らせるまちを目指している		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	あいのまち あいおい 健康プラン21		
根拠法令	法律・政令・省令		
	健康増進法、地域保健法、国民健康保険法		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.24	0.44	0.3	0.3
会計年度任用職員数			0.1	0.1	0.0	0.0
人件費計			1,769,594	3,512,412	2,294,963	2,294,963
事業費計			1,910,737	2,676,000	2,676,000	2,676,000
フルコスト			3,680,331	6,188,412	4,970,963	4,970,963

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	27,000	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		465,600	562,000	600,000	600,000
フルコストー特定財源			3,214,731	5,599,412	4,370,963	4,370,963
事業費計ー特定財源			1,445,137	2,087,000	2,076,000	2,076,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】がん検診受診者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	50	50	50	50	50	50
単年度実績値	44	37	31			
前年比	-	84.09%	83.78%	-	-	-
単年度達成率	88%	74%	62%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	39歳以下の肺がん検診受診者の1回あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	40,329.8	38,728.16	73,606.62	123,768.24	99,419.26	99,419.26
単年度実績値	45,829.3182	52,335.3514	118,720.3548			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	コロナ禍による外出自粛により生活習慣の変化やからだへの影響が報告されている中、健康管理への意識を高める機会としては社会情勢に適合している。また、健診が義務付けられる年齢の前から受診することで、自己管理の意識も高めることができる。	なし
有効性	B: 比較的有效である	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い受診人数が伸び悩んでいるが、受診機会のない若年者にとってよい機会となっている。また、第6次相生市総合計画の健康づくりの分野に事業が位置づけられており、直接的に貢献できている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	基本健診とがん検診が同時実施できるため、余暇の少ない働き盛りの世代にとって効率的に行えている。ただし、現状より受診しやすい環境を整えるため、健診機関、医師会等との調整が必要である。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	受診環境の面では、事業改善は達成できていない。ただし、関係法令等に沿った内容で事業が展開できている。	あり
透明性	C: 透明性が低い	広報紙等での周知や節目を迎える方へダイレクトメールを実施。更なる積極的な周知をしていく。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診者数が伸び悩んでいるが、コロナ禍だからこそ健康への意識を高める必要があるため、周知方法の見直しを行いながら、他事業や他課と協力して受診者の増加につなげていく。
休止・廃止となったときの影響	早期発見が遅れる可能性があり、身体的・経済的な負担だけでなく生命の維持までもが脅かされる

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	健康への意識を高めるためにも、周知方法等の見直しを行い、生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査等、他事業や他課と協力して受診者の増加を図る。

事務事業評価シート

年度

3

1. 基本情報

事業番号	030402010005	事務事業名	健康ポイント制度事業
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	健康に暮らせるまちづくり
基本施策	健康づくりと予防対策の推進	取り組み事項	健康づくり意識を醸成する
部名	健康福祉部	課名	子育て元気課
事業の開始	平成27年度	終了年度	なし
実施の概要	ポイントカードを配布し、健診受診や日々の運動等を実践したポイント達成者に記念品を贈呈する。		
対象	20歳以上の市民		
目的	健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の周知を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用職員数			0.02	0.02	0.02	0.02
人件費計			367,491	411,786	411,786	411,786
事業費計			376,610	386,000	386,000	386,000
フルコスト			744,101	797,786	797,786	797,786

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			300,000	300,000	0	0
フルコストー特定財源			444,101	497,786	797,786	797,786
事業費計ー特定財源			76,610	86,000	386,000	386,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】ポイント達成者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			250	250	260	270
単年度実績値			231	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	92.4%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	ポイント達成者数1人当たりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			2,976.404	3,191.144	3,068.4077	2,954.763
単年度実績値			3,221.2165			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	市民自らが日々目標を持って運動等に取り組んでいくことにより健康増進を図ることは、医療費の抑制にもつながるため、市にとって有意義である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	ポイント達成者に記念品を贈呈することにより、さらなる意欲の向上を図っている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	ポイント達成者(応募者)が伸び悩んでおり、特に若年層の参加が少なく改善が必要。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	周知方法の改善として、市インスタグラムなどを活用するもなかなか効果見られず。引き続き周知方法を含め実施について検討が必要。	あり
透明性	A: 透明性が高い	ポイントカードを広報あいおい折込みにて全戸配布し、広く市民へ情報発信し周知している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	若年層の参加が少なく改善が必要であり引き続き周知方法を含め実施について検討の必要がある。市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツを工夫したり、その他事業等も活用していく。
休止・廃止となったときの影響	

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツ等の工夫を行い、本事業の参加者、特に若年層の参加者の増加を図り、引き続き健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を図る。